

平成30年度

第2回滝川市地域包括支援センター運営協議会

日 時 平成30年12月10日（月）

午後6時00分から

場 所 滝川市役所5階 庁議室

次 第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 事

（1）平成30年4月～9月滝川市地域包括支援センター活動報告
について

（2）平成29年度高齢者実態調査結果報告について

（3）平成30年4月～9月認知症初期集中支援チーム活動報告
について

4. そ の 他

5. 閉 会

滝川市地域包括支援センター運営協議会委員名簿

(任期 平成 30 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日)

(敬称略)

関係機関・団体名	委 員 名
滝川市医師会	男澤 伸一
滝川歯科医会	原岡 研二
滝川薬剤師会	池田 吉隆
滝川地域訪問看護ステーション	奥田 亜貴
滝川市社会福祉事業団	佐々木 哲
滝川市民生委員児童委員連合協議会	鈴木 弘子
滝川市町内会連合会連絡協議会	深村 完市
滝川市老人クラブ連合会	窪之内美知代
滝川市社会福祉協議会	橘 弘恭

事務局

保健福祉部長

國嶋 隆雄

介護福祉課長（地域包括支援センター所長）

黒川 靖子

介護福祉課長補佐

土橋 祐二

介護福祉課介護保険係長

木村 雅人

地域包括支援センター副所長

相澤 理佳子

地域包括支援センター係長

加地 美賀子

平成30年4月～9月滝川市地域包括支援センター活動報告

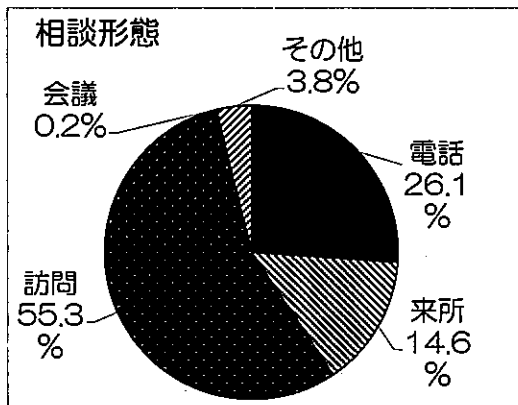
1. 総合相談支援

高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活を継続できるよう介護サービスにとどまらない、保健医療福祉の機関又は制度の利用につなげる等の総合的な支援を行った。

(1) 相談件数 (単位: 件)

30年度前期	848
29年度前期	905

(2) 相談形態



相談形態 (単位: 件)

	電話	来所	訪問	会議	その他	合計
30年度前期	221	124	469	2	32	848
29年度前期	204	127	533	3	38	905

(3) 相談者区分 (単位: 件)

	本人	家族	民生委員等	地域団体	医療機関	警察	実態把握	その他	計
30年度前期	139	116	29	141	68	9	340	6	848
29年度前期	155	140	44	94	57	13	384	18	905

(4) 相談内容区分 (重複あり) (単位: 件)

	介護日常生活相談	医療に関する相談	権利擁護相談	実態把握	介護予防事業	苦情相談	SOS関連	その他	計
30年度前期	465	56	19	337	13	1	3	71	965
29年度前期	389	61	17	360	8	1	0	140	976

(5) 対応内容区分 (重複あり) (単位: 件)

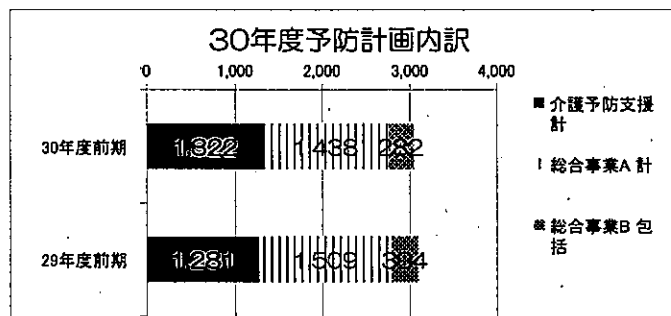
	相談・情報提供	ケース会議	連絡調整	家庭訪問	申請代行	SOS関連	調査訪問	その他	計
30年度前期	562	7	256	158	32	1	336	32	1,384
29年度前期	512	10	284	145	40	0	346	70	1,407

2. 介護予防ケアマネジメント事業

要支援1・2の認定者、総合事業対象者がより自立した生活を送れるために、適切な介護予防サービス等が提供されるよう、予防サービス計画を作成した。

(1) 担当総件数 (単位: 件)

	包括	委託	合計
30年度前期	3,164	83	3,247
29年度前期	3,229	49	3,278

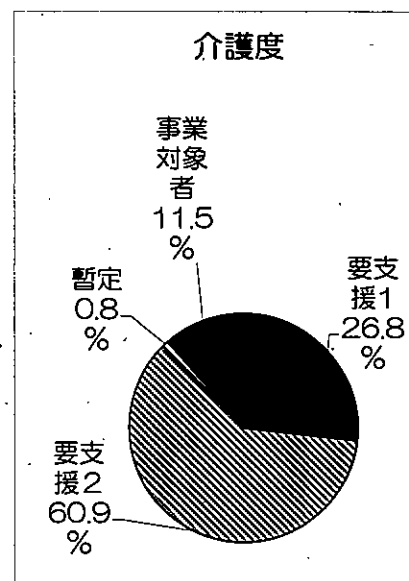


(2) 予防計画作成実績 (単位: 件)

	介護予防支援			総合事業A			総合事業B	合計
	包括	委託	計	包括	委託	計	包括	
30年度前期	1,274	48	1,322	1,405	33	1,438	282	3,042
29年度前期	1,256	25	1,281	1,485	24	1,509	304	3,094

平成30年度指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメントに係るケアプラン作成
委託業務事業所（30年9月末現在）

- ・株式会社 ジャパンケアサービス
- ・社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会
- ・社会福祉法人 岩見沢市社会福祉協議会
- ・株式会社 ひなたネットワーク
- ・有限会社 ケア・コラボレートK・H
- ・医療法人社団 新緑会 文屋内科消化器科医院
- ・社会福祉法人 旭川福祉事業会
- ・社会福祉法人 滝川市社会福祉協議会
- ・医療法人 徳洲会 介護老人保健施設コスモス介護センター



(3) 介護度（単位：人）

	要支援1	要支援2	暫定	事業対象者	合計
30年度前期	870	1,977	27	373	3,247
29年度前期	800	2,065	45	368	3,278

(4) 担当者会議開催数（単位：回）

30年度前期	529
29年度前期	564

3. 介護予防・日常生活支援総合事業

温泉教室（通所型サービスA）

虚弱状態・要支援の認定を持つ人に対し、閉じこもり・うつ予防や心身機能向上のため、週1回の外出の機会を作り、運動機能向上・栄養改善・口腔機能向上・人との交流を図る。

温泉教室参加者数（単位：回・人・人）

	開催回数	実人数	延人数
30年度前期	61	60	824
29年度前期	63	63	899

新規通所者内訳（単位：人）

	本人から	家族から	知人・近所から	関係機関から	実態調査	特定健診	計
人数	7	1	1	1	0	0	10

4. 包括的・継続的マネジメント事業

地域の介護支援専門員の指導や支援のほか、高齢者が住みやすい地域にするため、関係機関とのネットワークづくりを行った。

(1) ケアマネジャーの相談窓口

相談件数（単位：件）

30年度前期	4
29年度前期	31

(2) 関係機関ネットワーク会議

在宅・施設・医療等の関係機関に呼びかけ、相談員・介護支援専門員が参加。偶数月の水曜日に定例で情報交換を行う他、関係者向け研修会を実施。

《関係機関ネットワーク研修会》

テーマ：介護報酬改定研修～介護保険制度改正・報酬改定の動向と地域包括ケア～

講師：認定NPO法人シーズネット 理事長 奥田龍人氏 78人参加

(3) 地域ケア会議

地域の個別事例を通して、地域課題を見つけ解決へつなげるための地域ケア会議を月1回を目途に9月末までに5回開催。（9月の会議が震災のため10月に延期）

(4) 在宅医療・介護連携推進事業

- ・在宅医療と介護の連携に関する地域の課題を抽出し、その対応策を検討することを目的に、市内の医療・介護に関する関係者が集まる推進会議を開催。
事例検討を通じて、課題の共通認識を図り、課題解決へ向けての対策に取り組む。
会議は5月・8月 2回開催。
- ・6月より、お薬調整袋を利用した残薬調整活動を開始。
- ・医療関係者向けの介護施設に関する研修会を9月に滝川市立病院で開催。2月には介護職員向けの医療に関する研修会を開催予定。

(5) 生活支援体制整備事業

- ・高齢者が増加する中、多様な生活支援・介護予防サービスを利用できるような地域づくりをめざす。生活支援コーディネーターが基盤づくりのために、地域住民の集まりに参加し情報収集と支え合いの重要性の説明を行う他、先進地視察や他市町村のコーディネーターとの情報交換を行う。
- ・4月に第一層協議体となる「滝川支え合い会議」を設置。
- ・現在、東滝川地区の助け合いの仕組みづくり、第二小学校校区の「滝の川に地域食堂をつくる会」への支援の他 江部乙地区では地域の関係者・住民を対象に研修会を実施。
- ・支え合い通信の発行（4月・8月）

生活支援コーディネーター活動状況（単位：回）

	事業説明	小学校 地区会議	他市町 情報交 換 視察	研修 会・ 講演会 関連	地域団体 交流会 共生型	老人 クラブ 体操教 室	認知症・ 介護者 支援関連	その他	計
30年度前期	3	69	8	25	0	43	23	115	286
29年度前期	6	30	17	12	12	47	12	11	147

8月10日「江部乙見守り支え合い研修会」（北海道医療大学・滝川市包括連携事業）

テーマ：1人暮らしになっても慣れ親しんだ自宅で過ごすために

講師：北海道医療大学・看護福祉学部 准教授 工藤 禎子（よしこ）氏 56人参加

5. 認知症対策関連事業

(1) 物忘れ相談プログラムによる認知症チェック

物忘れ相談プログラムを活用し、物忘れの自己チェックや認知症に関する知識の普及啓発を図る。

物忘れ相談プログラム実施数（単位：回・人）

	地域体操教室・町内 会・老人クラブ		認知症カフェ		市役所ロビー・保 健センター・市立 病院		合計	
	回数	実施数	回数	実施数	回数	実施数	回数	実施数
30年度前期	1	11	0	0	5	63	6	74
29年度前期	2	12	3	14	2	57	7	83

(2)物忘れ相談

物忘れが気になる方や病院へ行くほどではないと思っている方などに、予約制の個別相談を実施。物忘れ相談プログラムのより詳しいプログラムを実施。必要時、受診勧奨等行う。月1回の物忘れ相談を実施。前期で6回 20人が利用。

(3)認知症カフェの開催

認知症の人やその家族、地域住民、専門職が、気軽に集まり認知症や介護について意見交換できる「認知症カフェ」を開催。市内のグループホーム、サービス付き高齢者向け住宅と家族会で月1回開催。

認知症カフェ参加数（単位：回・人）

	ともだちカフェ		カフェあけぼの		にんかふえ		地域のお茶会inコスモス		駅カフェ	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数
30年度前期	6	214	5	136	6	310	6	189	5	382
29年度前期	6	223	6	339	6	316	6	159	5	450
合計										
										回数 参加数
										28 1,231
										29 1,487

(4)認知症啓発月間活動

9月21日の世界アルツハイマーデーに合わせて、9月を認知症啓発月間と位置付け、各種事業を展開。

・認知症に関する普及啓発事業

9月3日～27日まで、市役所ロビーにてパネル展示、クイズコーナーを設ける。

クイズ解答者 96人

9月20日市役所広報スペースで物忘れ度測定実施 19人参加

・介護者クッキング

認知症の人とその家族が、お菓子作りを通して頭と体を使うとともに、認知症家族会会員等、地域住民との交流を図った。

講師：健康づくり課栄養士 13人参加

(5)認知症サポーター養成講座

認知症について、研修を修了したキャラバン・メイトが、認知症についての理解と地域での見守り支援の普及啓発の為、認知症サポーター養成講座を実施。

地域の会場では、物忘れ相談プログラムと組み合わせて実施。

見守りネットワーク関係団体に案内を送付した他、各種団体の依頼に応じ実施。

今年度は老人クラブに対し、脳トレ体操と合わせて認知症サポーター養成講座を行う。

今年度前期で、24回開催、計464人参加

(6)オレンジ倶楽部

認知症サポーター養成講座を受講した人達の中で、実際に何かの活動をしたいと思う人達を募り、「おれんじ通信」を発行し、認知症の知識や認知症に関する活動を紹介。

「おれんじ通信」の発行（5月）

6. その他の事業

(1) 家族介護者の支援

介護者サロン

家庭で認知症等の介護を行う介護者に対し、介護に関する知識の提供及び介護者同士の交流を通し、心身のリフレッシュ・介護者の疲れの軽減・介護者の悩みの軽減を図ることを目的に開催。介護者とは別室で被介護者を預かる託老も行い、介護者が参加しやすい体制づくりに努めている。

介護者サロン実績（単位：人）

	介護者	被介護者	オレンジ倶楽部	内容
第1回	11	6	10	「身体にやさしいお菓子作り」 「救急のはなし」
第2回	7	4	8	「身体にやさしいお菓子作り」 「アロマハンドタッチングケア」※

※講師：（一社）ホリスティックハーバルセラピー協会理事長 吉田 のり子氏

介護者の集い

家族介護者がバランスに配慮した食事と楽しいレクリエーションやおしゃべりでリフレッシュを図り、介護者自身の健康づくり、並びに介護者サロンの周知を推進。

介護者の集い実績（単位：人）

介護者	被介護者	オレンジ倶楽部	内容
12	6	4	楽しいレクリエーション お食事「ワンプレートランチ」 三味線演奏、手話を使った脳トレ

(2) 成年後見制度の申し立て支援

市長申立件数 1件

(3) SOSネットワークシステム

徘徊による行方不明者をすみやかに搜索・発見するためのネットワークの構築。

現在の登録実人数は135人。うち、30年度新規登録者は16人。

今年度前期の搜索依頼は3件、いずれも無事発見されている。

(4) 滝川市はいかい高齢者等位置探索システム助成事業

今年度前期における新規申請者2人。

(5) 高齢者虐待の相談支援 4件

警察からの連絡が多く、現状を確認、関係者と連絡を取り合いながら経過観察中。

(6) 出前講座

市民や関係機関の依頼に応じて、高齢者福祉・介護予防等に関する講座を実施。

第1回 4月9日「認知症予防講座」 江部乙第8連合町内会 15人参加

第2回 6月6日「第7期滝川市介護保険事業計画をとらえる」介護コミュたきかわ 37人参加

(7) 地域リハビリテーション活動支援事業

作業療法士が中心となり、介護予防の取り組みを総合的に支援するために、訪問・事例検討会等へ出席する他、市内の医療・介護施設等で勤務するリハビリテーション職の研修・交流の機会を提供し、ネットワークづくりを推進。

7月12日 リハ職ネットワーク会議 情報交換会 46人参加

報告：「老人保健施設シーザースについて」理学療法士 松倉 雄之氏

「滝川市こども発達支援センターについて」言語聴覚士 鈴木 有香

9月13日 リハ職ネットワーク会議 研修会 59人参加

講義：テーマ「自立支援のための住環境のとらえ方」

講師：特定非営利法人HPT総括部長 理学療法士 岡田 しげひこ氏

平成29年度 高齢者実態調査 結果報告

平成29年4月現在での75歳以上総人数
平成29年度調査実施地区の75歳以上総人数
《調査実施地区》

6,719人

1,138人

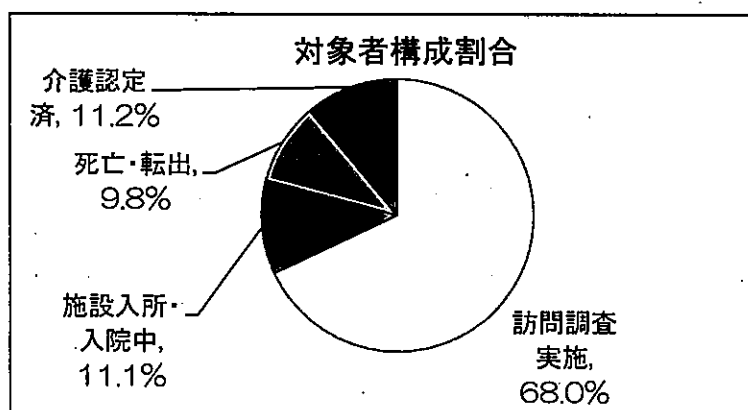
一の坂町 屯田町 北滝の川 南滝の川

・世帯構成に関係なく、29年4月1日現在満75歳以上の人を対象に訪問調査を実施。
介護サービス利用や入院・施設入所が明らかな場合は訪問せず。

(単位:人・世帯)

	人数	世帯数	内訳		
			単身世帯	夫婦世帯	その他
総数	1,138	616	152	344	120
調査対象地区	一の坂町 屯田町 北滝の川 南滝の川				

○対象者構成割合

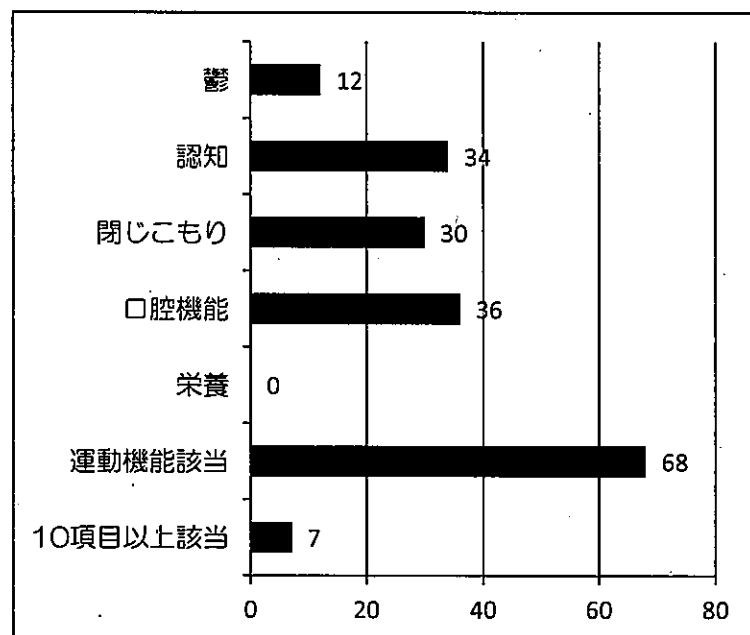


(単位:人)

内訳	人数
訪問調査実施	774
施設入所・入院中	126
死亡・転出	111
介護認定済	127
総計	1,138

○総合事業対象者内訳

実数 117人



(単位:人)

内訳(重複あり)	人数
10項目以上該当	7
運動機能該当	68
栄養	0
口腔機能	36
閉じこもり	30
認知	34
鬱	12

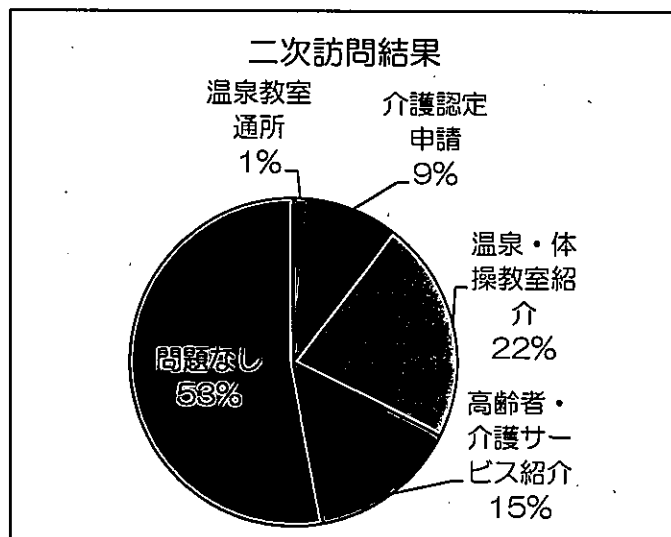
《総合事業対象者となる基準》

基本チェックリストにおいて次のいずれかに該当する者は要介護状態となるおそれが高い状態にあると認められる。

- ・20項目のうち10項目以上該当。
- ・運動機能項目5項目中3項目以上該当。
- ・栄養項目2項目全て該当。
- ・口腔機能3項目中2項目以上該当。
- ・上記に該当する者のうち、閉じこもり項目該当、認知機能3項目中2項目以上該当、鬱5項目中2項目以上該当者は配慮が必要。

○二次訪問・電話

総合事業対象者のうち、介護予防事業(温泉教室・地域体操教室)通所の必要性が高い運動機能低下のみられる68人に対し、地域包括支援センター保健師が訪問・電話かけを行う。



(単位:人)

内訳	人数
訪問	23
電話	45
計	68

(単位:人)

結果	人数
温泉教室通所	1
介護認定申請	6
温泉・体操教室紹介	15
高齢者・介護サービス紹介	10
問題なし	36
計	68

○まとめ

今年度は、調査員が年度当初と年度途中で交代となったため、昨年度よりも調査件数はやや減少した。

経年で調査を継続しているためか、調査を始めた頃に時折見受けられた、緊急対応が必要となる事例の発見はなかった。訪問時には地域包括支援センターのパンフレットを渡し、相談窓口を紹介。それを見て後から相談が来ることもあり、センターのPRにつながっていると考える。

平成25年度から調査対象者を単身・同居に関わらず75歳以上の人全員とし、29年度中で市内全域の調査を終えた。これまでの基本チェックリストによる調査の他に閉じこもり予防対策へつなげるべく、外出状況を確認するアンケートも併せて行い、今後の事業展開へ活かしていく。

平成30年4月～9月 認知症初期集中支援チーム活動報告

1. チーム員会議の開催

会議実施数（単位：回・件）

	回数	検討事例数
30年度前期	6	6
29年度前期	6	7

事例の状況

	年齢	性別	世帯構成	相談者	支援経過
4月	78歳	女性	同居(夫)	息子	玄関先での話しか応じない。息子と連絡取り経過観察。
5月	80歳	女性	独居	公営住宅係	地域体操教室通所。担当者で情報共有しながら経過観察。
6月	85歳	男性	同居(妻)	息子	小規模多機能型居宅介護利用開始するが、現在はサービス利用せず自宅で生活。
7月	87歳	女性	独居	娘	小規模多機能型居宅介護利用開始、その後介護付き有料老人ホーム入居の後死亡。
8月	84歳	男性	同居(妻)	妻	通所サービス利用を勧め居宅介護支援事業所へ引き継ぎ。
9月	78歳	女性	同居(夫)	夫	（28年9月に検討した事例の再検討）本人の認知機能はほとんど変わりなし。夫がストレスを解消できる方法を伝える。

《医療受診について》

（単位：件）

すでに受診済	1
現在の受診科で経過	4
医療機関未受診	1

《支援結果》

（単位：件）

支援終了	3
継続支援	3

2. 普及・啓発活動

リーフレットを作成、認知症サポーター養成講座や出前講座の際に配布する他、介護福祉課の窓口に配置。

地域包括支援センターのパンフレットの中に「認知症の方と家族を支える取り組み」の一つとして掲載。パンフレットは高齢者実態調査の訪問時に配布。

第7期滝川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成30年度～平成32年度）において目標値を定めている事業（抜粋）

【1 ページ】

1. 総合相談支援

○総合相談のうち実態（把握）調査件数の目標

	H30 年度	H31 年度	H32 年度
実態調査件数	1,600件	1,600件	1,600件

【2 ページ】

3. 介護予防・日常生活支援総合事業

○温泉教室参加者の目標

		H30 年度	H31 年度	H32 年度
実施回数		120 回	120 回	120 回
延参加者数	実人数	69 人	69 人	69 人
	延人数	1,800 人	1,800 人	1,800 人

【2・3 ページ】

4. 包括的・継続的マネジメント事業

○関係機関ネットワーク会議開催の目標

	H30 年度	H31 年度	H32 年度
事業所ネットワーク 会議開催回数	6回	6回	6回
事業所ネットワーク 会議研修開催回数	2回	2回	2回

○地域ケア会議開催の目標

	H30 年度	H31 年度	H32 年度
個別会議開催回数	12回	12回	12回
推進会議開催回数	2回	2回	2回

【3・4 ページ】

5. 認知症対策関連事業

○物忘れ相談プログラム実施の目標

	H30 年度		H31 年度		H32 年度	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
老人クラブ	20回	240人	3回	36人	3回	36人
地域体操教室・ 町内会	5回	60人	5回	60人	5回	60人
認知症カフェ	6回	30人	6回	30人	6回	30人
その他	3回	84人	3回	84人	3回	84人
合 計	34回	414人	17回	210人	17回	210人

○物忘れ相談（T-DASを活用）の目標

	H30年度	H31年度	H32年度
開催回数	17回	19回	21回
検討事例数	35人	39人	43人

○認知症予防出前講座開催の目標

	H30年度	H31年度	H32年度
開催回数	25回	25回	25回
参加者数	375人	375人	375人

○認知症カフェ運営開催の目標

	H30年度	H31年度	H32年度
会場数	6か所	6か所	6か所
開催回数	66回	72回	72回
延参加者数	3,290人	3,606人	3,606人

○認知症サポーター養成講座開催の目標

	H30年度	H31年度	H32年度
開催回数	35回	20回	20回
養成人数	450人	300人	300人
認知症サポーター総数	2,981人	3,281人	3,581人

○オレンジ倶楽部登録者の目標

	H30年度	H31年度	H32年度
登録者数	40人	45人	50人

【5ページ】

6. その他の事業

○介護者サロン開催の目標

	H30年度	H31年度	H32年度
開催回数	6回	6回	6回
延参加者数	100人	100人	100人

OSOSネットワークシステム登録者の目標

	H30年度	H31年度	H32年度
登録者数	128人	140人	152人

○滝川市はいかい高齢者等位置探索システム助成事業利用者の目標

	H30年度	H31年度	H32年度
利用者数	2人	2人	2人